

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	HIYOKO SPORTS南中山教室		
○保護者評価実施期間	令和8年 4月 27日		～ 令和8年 5月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	令和8年 5月 10日		～ 令和8年 5月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 5月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・運動療育の幅広さ	・子どもの特性や発達に応じた運動療育を教室にあるものを使いながら想像を膨らませて増やしている。また、子どもたちが運動を楽しみと思えるような内容も取り入れながら運動療育を行っている。	・子ども達が運動がつまらないものだと感じないように運動内容を固定化させず様々な物を取り入れていきながら行っていく。
2	・「できた」を見つける力	・スモールステップを意識して行っているため本当に小さなことでも「すごいね」「できたね」等の前向きな声掛けを行うようにしている。そうすることで子どもたちの達成感や成長につながっている。	・子ども達が「もっとがんばろう」や「うれしい」と思えるような大げさなくらいの声掛けをたくさん行うことでより成長に繋がっていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・人員の不足	・面接や見学に来てくれたとしても今いるスタッフ一人一人に余裕がないと感じる。そのため大変な職場と感じさせている部分がある。	・朝礼時に役割分担を決め明確にしておく。そうすることで焦りが多少減らしていくことが出来る。
2	・専門支援員の不足	・職種として専門支援員が少ない現状にある。また、強度行動障害や専門支援を取りたくても人員配置が不足しているため取組が出来ていない。	・教室のアピールをするためにもSNSやブログ等を活用しながら呼びかけていく必要がある。専門支援員を取ることで運動機能や言語等での成長が出来ていくと思う。
3	・祝日利用の少なさ	・祝日に入ってしまうと家族での出かける予定がある家庭が多いため欠席率やキャンセル率に繋がってしまう現状にあり、他の家庭に追加利用の声掛けを促してもうまく利用に繋がっていきことが出来ていない。	・長期休みだけではなく祝日にもイベント等を行いながら子どもたちが「行きたい」と思えるようにする。そうすることで欠席率やキャンセル率が減っていく。